

富山ゆかりのバイオテクノロジー

～和漢薬と薬膳～

2010年11月19日(金) 13:30～ 名鉄トヤマホテル 4階 瑞雲の間

300年以上の歴史を持つ「富山のくすり」。富山藩主前田正甫(まさとし)公が、江戸城での会議の折、三春藩(現・福島県)藩主が急病になり、正甫公が持っていた「反魂丹」を奨めたところ、たちまち回復したため、その薬効が全国に知れ渡ったことがその始まりです。その後、富山藩は薬を中心産業として振興し、よく効く薬の開発・製造に努めました。

それ以来、富山の発展に重要な役割を担ってきた「薬」。漢方(中国医学)から多くを学びながら、「和漢薬」として発展してきました。その特徴は、自然界に存在する物質の中からヒトに何らかの薬効を有するもの(生薬)を利用し、複数の生薬を組み合わせ(処方)して使うことによって、より高い効能を探索しつつ、経験を積み上げてきたことです。

近年では、この生薬を科学的に評価し、東洋医学と西洋医学の融合をはかりながら、新しい医薬学体系が構築されてきています。そのような中、経験が重視される漢方医学において、診断治療体系を基礎的および臨床的研究により、客観化する取り組みが行われています。

また、地球環境の変化により、天然薬物資源の減少が危惧される中、生薬資源の現状の把握と代替生薬の開発が行われています。

一方、「薬膳」とは、生薬の原料等を用いた料理であり、滋養強壮や病気の治療効果を高めるなど、栄養、効果、色、香り、味などすべてが揃った食養生の方法です。

今回のセミナーでは、和漢薬の効能や生薬資源の現状と課題、また、薬膳についても取り上げ、これからの将来展望などについて考えてみたいと思います。

■開会の挨拶 松島綱治氏(富山バイオセミナー等実行委員会会長、国立大学法人東京大学医学部・大学院教授)

■基調講演(120分) 13:35～15:35

「和漢薬と薬膳の現状と課題」

○「和漢薬の臨床効果について」

柴原直利氏(国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野教授)

○「生薬資源の現状と課題、将来に向けての取り組み」

小松かつ子氏(国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野教授)

○「生薬の産地巡り ～葛根湯編～」

野村秀一氏(株式会社ツムラ医薬営業本部流通戦略部特販課)

○「今どきの薬膳」

池田安隆氏(株式会社池田屋安兵衛商店代表取締役)

■パネルディスカッション(50分) 15:45～16:35

「和漢薬と薬膳の可能性を探る」

○コーディネーター

松島綱治氏(富山バイオセミナー等実行委員会会長、国立大学法人東京大学医学部・大学院教授)

○パネリスト

柴原直利氏(国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野教授)

小松かつ子氏(国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野教授)

野村秀一氏(株式会社ツムラ医薬営業本部流通戦略部特販課)

池田安隆氏(株式会社池田屋安兵衛商店代表取締役)

■交流会(ライトパーティー) 16:35～17:15(軽食を囲んで、懇談や情報交換をしていただけます。参加費無料)

○主催：富山バイオセミナー等実行委員会[富山市、富山県、(財)富山県新世紀産業機構ほか]

○後援：株式会社日本政策投資銀行、国立大学法人富山大学、富山県立大学、北陸経済連合会、富山県商工会議所連合会、社団法人富山県薬業連合会、ほくりく健康創造クラスター本部、富山県バイオ産業振興協会、NPO法人日本バイオベンチャー推進協会

「とやまバイオセミナー2010」ホームページ http://www7.city.toyama.toyama.jp/window/10_sangyo/05/05.html

参加ご希望の方は、裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、**11月16日(火)**までに**メール、FAX又は郵便**にてご返送ください。

講師・パネリストなどの略歴

柴原 直利 (しばはら なおとし) 氏 (国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野教授)

富山医科薬科大学医学部医学科卒業。富山医科薬科大学医学部助手、同大学和漢薬研究所漢方診断学部門客員助教授、同客員教授、2005年富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学部門客員教授を経て、2010年同大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野教授、現在に至る。医学博士。

小松 かつ子 (こまつ かつこ) 氏 (国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野教授)

富山大学薬学部薬学科卒業。富山医科薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了、薬学博士。富山医科薬科大学和漢薬研究所資源開発部門助手、同大学和漢薬研究所附属薬効解析センター助教授、同センター長を経て、2004年同大学教授。2005年同大学和漢医薬学総合研究所附属民族薬物研究センター民族薬物資料館館長、現在に至る。

野村 秀一 (のむら しゅういち) 氏 (株式会社ツムラ医薬営業本部流通戦略部特販課)

神戸大学農学部卒業。1981年(株)津村順天堂(現株)ツムラ)入社。原料生産調達部門(生薬の産地担当)配属。日本、中国、インドネシアの生薬生産地において、契約栽培農家への技術指導により、より品質の良い生薬を安定した価格で、安定した数量を確保する業務に携わる。1997年医薬営業本部転属、現在に至る。

池田 安隆 (いけだ やすたか) 氏 (株式会社池田屋安兵衛商店代表取締役)

慶応義塾大学商学部卒業。1979年株式会社池田屋安兵衛商店入社。1984年代表取締役就任、現在に至る。NPO法人富山観光創造会議副理事長、全国まちの駅連絡協議会理事、富山やくぜん普及推進会議委員。

松島 綱治 (まつしま こうじ) 氏 (国立大学法人東京大学医学部・大学院教授)

金沢大学医学部卒業。金沢大学大学院医学研究科修了(分子免疫学)、医学博士。1982年から1990年まで米国国立衛生研究所留学。1990年金沢大学がん研究所薬理部教授。1996年東京大学大学院医学系研究科分子予防医学教授、現在に至る。日本免疫学会理事、日本炎症・再生医学会常務理事、NPO法人日本バイオベンチャー推進協会会長、等。富山バイオセミナー等実行委員会会長。

《定 員》 120名

《参 加 費》 無料 ※交流会(ライトパーティー)も無料。どなたでも参加いただけます。

《申込み・問合せ先》 富山バイオセミナー等実行委員会

【事務局】 富山市商工労働部工業政策課(〒930-8510 富山市新桜町7-38)

TEL : (076) 443 - 2166 FAX : (076) 432 - 8998

E-mail : kogyoseisaku-01@city.toyama.lg.jp

(財)富山県新世紀産業機構産学官連携推進センター連携促進課(〒930-0866 富山市高田 529)

TEL : (076) 444 - 5606 FAX : (076) 444 - 5630

参加申込書

富山バイオセミナー等実行委員会事務局 行き

会社(機関)名: _____ 担当: _____

連絡先: TEL _____ FAX _____

氏 名	所属・職名	氏 名	所属・職名

セミナー等において、講師・パネリスト等にお聞きしたい質問などありましたら、ご記入ください。